

高橋由一から藤島武二まで 山岡コレクションを中心に

休館日…毎週月曜日(但し祝日は開館、翌日休館)
開館時間…午前9時～午後5時(入館は30分前迄)
会場…都市立美術館(都市市姫城町7-18)
入場料…【当日】一般/800円、高・大生/600円、中学生以下/無料
【割引】一般/600円、高・大生/400円

※割引は前売、10名以上の団体、福祉(高齢者・障害のある方)
主催…都市立美術館・宮崎日日新聞社

後援…宮崎県・鹿児島県・宮崎県教育委員会・都城文化協会・都城エネコ協会・NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・南日本新聞社・MBC南日本放送・KTS鹿児島テレビ・KB鹿兒島放送・KYT鹿児島読売テレビ・エフエム宮崎・BTVケーブルテレビ・シティエフエム都城
特別協力…助日動美術財団

前売…平成17年5月16日(月)より
◎講演会/高階秀爾氏(大原美術館館長) 入場無料・事前申込(先着250名)
演題…「絵画の明治」
日時…7月10日(日)午後1時30分～3時30分
会場…ウエルネス交流プラザ・ムシカホール(都市市蔵原町11-25)

日本 近代洋画への道

2005
7/2 日
8/21 日



近代洋画への道

日本
高橋由一から藤島武二まで
山岡コレクションを中心に

- 1853 米特使ペリー、浦賀に来航し開国要求
- 1857 蕃書調所に絵図調方を設置(川上冬崖、絵図調方)
- 1861 英人新聞記者ワグマン来日
- 1862 高橋由一(34歳)、洋書調所に入る
- 1865 高橋由一、「洋画局的言」を画学局に掲示
- 1866 高橋由一、ワグマンに師事
- 1867 大政奉還
- 1869 川上冬崖、日本初の洋画塾聴香読画館を開く
- 1870 国沢新九郎、落命により渡英、西洋画法を学ぶ

- 1873 高橋由一、洋書調所に入る
- 1874 国沢新九郎、渡英
- 1875 国沢新九郎、渡英
- 1876 工部省工芸寮(洋画部)設立
- 1877 高橋由一<鮭>を完成
- 1884 黒田清輝(18歳)渡英
- 1889 東京美術学校授業開始
- 1896 東京美術学校に西洋画科設置

- 1: チャールズ・ワグマン 東禅寺浪士乱入図
- 2: 百武兼行 フルガリアの女 明治15年(1882)
- 3: 五姓田吉松 人形の着物 明治16年(1883)
- 4: 岡 精一 搜索 明治22年(1889)
- 5: 小山正太郎 青梅風景 明治35年(1902)
- 6: 黒田清輝 黒田清兼像 明治40年(1907)
- 7: 青木 繁 二人の少女 明治42年(1909)
- 8: 藤島武二 ヴェニス風景 明治41~42年(1908~09)



1



4



3



2



7



6



5

「日本近代洋画」と言えば、すぐに思い浮かぶのは、黒田清輝であり、東京美術学校西洋画科からの流れでしょう。けれど、今回の展覧会は、それ以前の歩みにスポットをあてます。幕末から明治にかけて、日本で「洋画」というものが描かれるようになったまさにその初めの足跡を辿ろうというわけです。出品は、幻の山岡孫吉(ヤンマーディゼルの創業者)氏のコレクションを



8

もとい、高橋由一から黒田清輝、藤島武二までの176点となります。さて、日本での制度としての洋画研究は幕末の蕃書調所から始まりました。それから東京美術学校西洋画科の設置まで40年。このたかだか半世紀たらずの歲月の中に、高橋由一のように手探りで自らの洋画を求めた歩みもあれば、早期に設立されて短命に終わった工部美術学校に学んだ歩みもあり、また、黒田清輝のように、法学研究のために留学したフランスで絵画の道を選び、ついには日本の洋画界のリーダーとなった歩みもあります。17歳の黒田がフランスに旅立った時、彼自身はその先に洋画の道が待っているとは知る由もなく、一方、前述の画家たちは、時代の反動による洋画排斥のたどたどを生きていました。由と黒田では38歳の開きがあり、洋画との出会いも修得の仕方も違いがあります。制度の定まる以前と以後の違いもあるでしょう。しかし、いずれであろうとそこには、それまでの日本の絵にはなかった新しい視覚と技法とその妙味を求めたひたむきに歩いた個々の絵描きの姿があり、ただ、制度としての洋画受容の形だけでは語れないものがあるようです。単に技術の移入にとどまらない文化の問題としての葛藤を身の内に抱えながら、「洋画」は、日本の近代に徐々にその姿を現してきたのです。

高階秀爾氏講演会 入場無料 ◎演題「絵画の明治」

(大原美術館館長) Profile 1932年 東京都に生まれる。2005年 7月10日(日) 午後1時30分~3時30分 ◎会場 ウェルネス交流プラザシカホール 都城市蔵原町11-25 TEL 0986-26-7770 ※駐車場はウェルネスパーキングをご利用下さい。(3時間無料)



※事前に参加のお申し込みが必要です。(先着250名様) ■申込方法 6月10日(金)より、電話またはファクスでお申し込みください。TEL 0986-25-1447 FAX 0986-24-8103 受付時間 午前10時~午後5時

■JR 日豊本線「西都城駅」下車徒歩10分 / 吉都線「都城駅」下車タクシーで10分 ■バス 「美術館前」バス停「下車」 「広口」バス停又は「西広口」バス停「下車徒歩5分」 「市役所前」バス停「下車徒歩2分」 / 「早輪入口」バス停「下車徒歩3分」 ■自動車 宮崎自動車道「都城IC」から都城方面へ約20分 ■駐車場(無料) 市役所駐車場約140台(身障者専用スペース1台) ※他施設との共用の為充分なスペースではありません。なるべく公共機関をご利用ください。

都城市立美術館 Miyazakinoji City Museum of Art 〒885-0073 都城市姫城町7街区18号 TEL.0986-25-1447 FAX.0986-24-8103



日本 近代洋画への道 100円引 ※1枚につき2名様まで有効です ※他の割引券とは併用できません